

山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備に伴う効果について

J R東日本から、山形新幹線米沢トンネル（仮称）整備計画に係る調査の結果が報告されたことを踏まえ、山形県において、トンネル整備に伴う効果の試算等を行った。概要は以下のとおり。

今後は、こうした試算等も示しながら、トンネル整備の必要性について、政府に働きかけていくとともに、トンネル整備効果を広くPRし、機運醸成を図っていく。

【米沢トンネル（仮称）整備により見込まれる定性的な効果】

- ・ 大雪や大雨時等の山形新幹線の運行の安全性・安定性の向上
- ・ 全国の新幹線ネットワークの安定性の向上
- ・ 激甚化する災害等による被害の予防と国土強靱化への貢献
- ・ 心理的効果による県内への訪問者の増加
- ・ 県内滞在時間の延長に伴う消費増加
- ・ 関係人口の拡大と地域活性化
- ・ ビジネス往来の活性化や企業立地の促進
- ・ 県内へのインバウンドの増加による経済効果の拡大
- ・ 山形県のさらなる知名度向上

【米沢トンネル（仮称）整備に伴う経済波及効果】

項 目	内 容
建設に伴う経済波及効果	約3,353億円
整備後に山形新幹線を利用する入込客数 うち整備により増加する入込客数	年間約185万人 年間約8.9万人
整備後の経済波及効果 うち整備による増加分	年間約686億円 年間 約33億円

※「平成27年山形県産業連関表」を用いて試算。

※トンネル整備（建設投資）による経済波及効果は、再算出された事業費（約2,300億円）による。

※整備後の経済波及効果は、トンネル整備後に山形新幹線を利用する山形県への入込客数を試算し、この入込客による県内消費額を基に試算。